6

起案 昭和 ・ ・	起案 昭和 45・9・21	F No	0・0・6
決裁 昭和 45・9・24	完結 昭和 45・9・24	保存	永 10 5 3 1

市長	助役	助役(合議)	決裁区分 甲 乙 丙 丁
			総合企画部 企画調整課 渉外 係
部長	課長	係長	起案者	合議	審査

施行前後上の注意

浄書種別	浄書用紙	整理方法	送達表示	外部公表期限
タイプ				文書管理 9月21日

発信者名 市長 助役 部長 課長

あて先 別紙のとおり

先方の文書 昭和 ・ ・ 付 第 号

件名 在日米陸軍医療本部の全面返還について（要望）

このことについて別紙のとおり要望してよいでしょうか。

在日米陸軍医療本部の全面返還について（要望）

首都圏近郊における本市の都市化は、極めて著るしいものがあり、特に人口の増加率では全国有数の位置を占めております。

本市には、在日米軍基地が6か所あり、その規模は、土地が約537ha（市域面積の6%）、建物約49万9,700㎡が米軍によつて使用されている現況にあります。さらに個々の基地は市街地の中枢部にあるということから本市の都市建設には多くの障害と複雑な社会問題を投げかけております。

特に本市の南部地区に所在する在日米陸軍医療本部（FAC 3098）は、小田急電鉄相模大野駅に近接し最も人口集中化の激しい地域に存在することから複雑な都市問題を惹起している基地であり、基地の存在そのものに反対する声が日ごとに高まりつつあり、基地問題はますます深刻な様相を呈しており現行のままでは地域住民の協力を得ることは極めて困難となりつつある状況であります。

申すまでもなく国防の義務は全国民が等しくこれを負うべきものであつて、これを一都市の犠牲によることは問題があり基地周辺の住民に苦悩を与えるものであります。

本市では長期的な展望にたつて土地区画整理事業等により調和のとれた市街地の造成に努めておりますが、市街地の中にある当該施設は、あらゆる面での支障を来たしているものであります。すなわち当該施設周辺は市立小中学校をはじめ県立高校私立の小中高大学校の文教地区のほか、住宅地、商業地の中枢に位置しており、この地域の発展がはばまれ、地域住民の福祉が大きくそこなわれることは重大な問題であります。

ここに、本市100万の大計と周辺住民の悲願を願つて当該基地の全面返還について特別のご配慮をたまわり一刻も早く実現されるよう要望する次第であります。

昭和45年9月24日

神奈川県知事
津 田 文 吾 殿

相模原市長 河 津 勝